

## 【児童舞踊部 講評】

- 子どもを取り巻く環境が目まぐるしく変化している今、子ども達の気持ちを束ねて一つの目標に向かって努力することは容易なことではありません。まずは出場してくださった指導者の先生方の強いお気持ちに感服いたします。

そして、今年も大変レベルの高い闘いでした。入賞した作品はもちろんですが、惜しくも入賞を逃した作品にもそれぞれの良さがあり、すべての作品に異なる賞を差し上げたい気持ちになりました。

その中でも、やはりテーマが明確に打ち出されている作品に心を奪われました。子どもたちが取り組むのに相応しいテーマを中心に据え、そのテーマを伝えるための独自の動きで構成され、さらに子どもたちがテーマや動きをよく理解して踊っている作品は、子どもたちからも伝えたい気持ちが強く伝わり、その訴えかける力には圧倒されました。

そして今回は、児童舞踊の良さを改めて感じる一日となりました。児童舞踊では、作品の中で、テーマごとにいろいろなものになりきることができますし、また他者の気持ちに寄り添う体験もできます。あ

るいは自分自身と向き合うこともあるでしょう。子どもたちは、作品世界を踊りイメージを掘り下げていくプロセスの中で、他者や自分への理解を深めていき、他者を思い遣るなど、他者との関係性についても考えていくことと思います。作品を拝見しながら、尊い経験をしていることに深い感銘を受け、ご指導をしてくださった先生方に尊敬の念を抱かずにはおれません。コンクールの経験が、子どもたちの明日をより大きく育てていることにしみじみ感動した一日となりました。

■まず全体のレベルの高さに驚きました。特に、空間の使い方が斬新で、それがテーマに迫っている作品には心が惹かれました。すばらしい技能と重ねた練習に裏うちされた皆さんの体には、ダンスのイメージやそれに寄せる想いが満ち、まさにあふれ出して観客の心に届いて来ました。今後もどうぞこの時にしかできない表現の世界を追求していただけたらと思います。

■どの作品からも子供たちが一生懸命レッスンを重ねてきた事が伝わってきました。

年齢差がある中、発送や工夫で児童舞踊としての作品が多かったよう

に思います。

振付を覚えるだけでなく、題名を理解して音楽を感じ、気持ちをのせて踊ることを大切にしてほしい。

本日の経験が一人一人の大きな自信につながることを願っています。

■少子化がどんどん進み、指導者の方々も大変苦勞されていることでし

ょう。それがこの舞台にも現れているように思います。

しかし実際に出演されているお子さんたちは、幼児部も含め、みんな元気いっぱい、客席に感動と暖かい心を振りまきました。

あと欲を言えば、①作品を通して表現したいこと（タイトルを含めて）をもう少し明確に、②大人にはない（表現できない）児童らしさをもっと追究してください。

■この度は素敵な作品を拝見させて頂きまして、まことにありがとうございました。

ざいました。

どの作品も生徒さん方への愛情いっぱいのご指導の成果が見られ、感動いたしました。

児童の心情を表現する作品を今後、益々期待しております。

■素晴らしい決選を見させていただき、ありがとうございました。まずは、演じた出演者の皆さん、指導の先生に敬意を表します。コンクールなので順位がつきますが、たとえ入賞できなくても恥じることはありません。挑んだことが素晴らしいですし、挑戦しない者には敗北はあっても勝利はありません。挑んだ取り組みを誇りに思ってください。

作品について少し触れさせていただきます。技術力は全体的には上がっているのですが、その作品に合った振付かどうかを熟考して頂くと良いかと思います。また道具の使い方も、より活かす使い方を工夫して頂けると良いかと思います。作品の難易度は幼児部よりかなり上がっていますが、先生が良く生徒さんとコミュニケーションをとってよりわかりやすいように指導していただけると良いかと思います。選曲についてもある程度作品の中身のバランスを考え、自然な形で構成できると良いかと思います。

児童舞踊は素晴らしい文化芸術です。みなさんはこれからの担い手として活躍して下さることを願ってやみません。

関わられた全ての方々に拍手！！